

2019.10.27 脊振山系・金山 (かなやま) 967M登山 (三瀬峠登山口581Mから)

(三瀬峠登山口581M～九州自然歩道 (縦走路) ～城の山846M～アゴ坂峠740M～金山 (かなやま) 967M
～花乱の滝登山口350M～花乱の滝 (からんのたき)、デポした車で坊主ヶ滝～三瀬峠登山口581M)





早良区役所

三瀬峠登山口地図

井手野

山中

三瀬村

小爪峠

アゴ坂峠

湯の野

現在地

坊主ヶ滝

金山

城の山

井原山へ

千石の郷

花乱の滝

曲淵ダム

九州自然歩道
金山 3.7KM

6:32

38

早良区役所

金山 110分

6:38

6:33





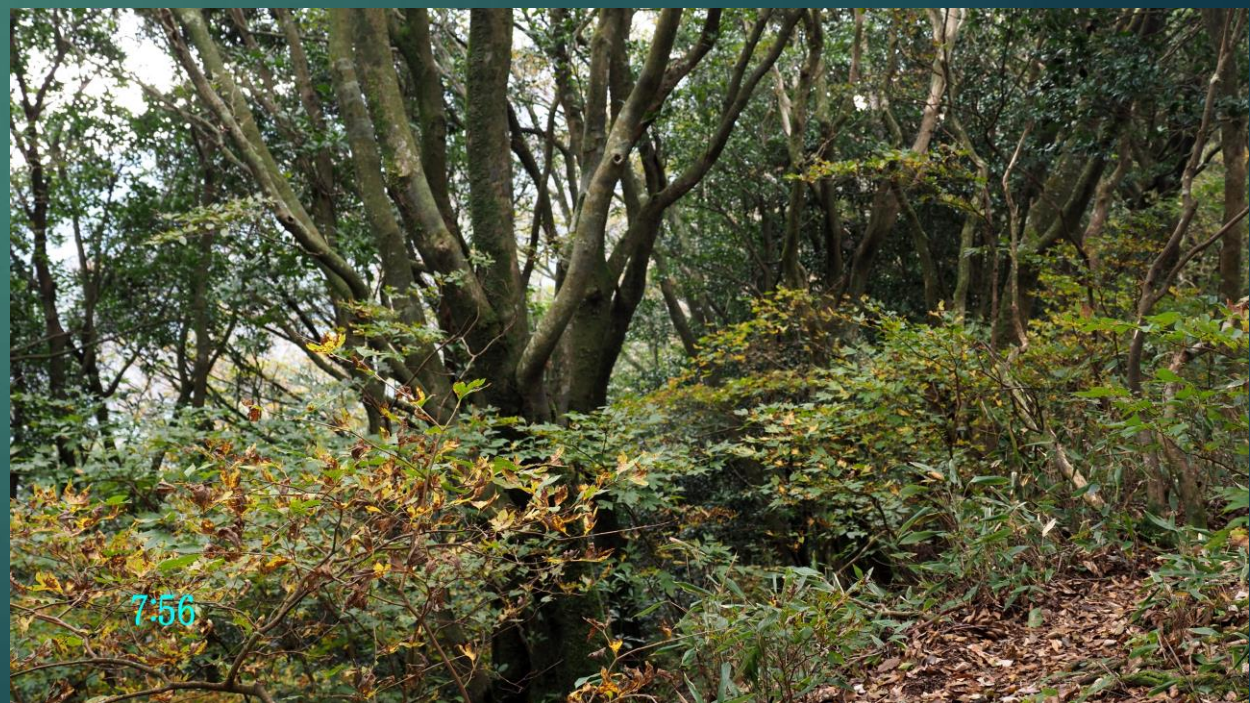
7:28



7:33



7:45



7:56





8:19



8:30



アゴ坂峠740m

8:36 アゴ坂峠740m



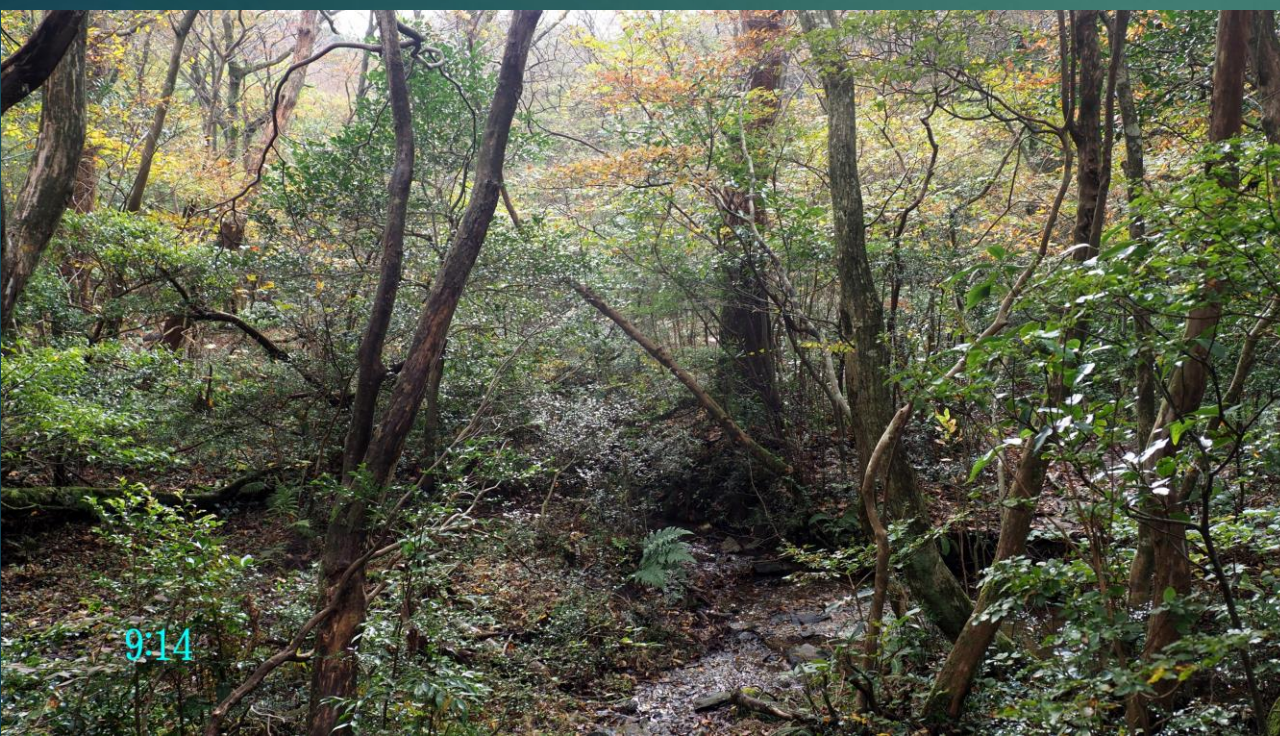
8:36
アゴ坂峠740m



9:10



9:11



9:14



9:15

金山山頂0.2KM

椎原峠46KM

10:03

鍋島藩番所跡

九州自然歩道

凡例
 九州自然歩道
 登山道
 バス路線
 道線
 道場
 地
 △ キャンプ場
 ● 現在地



山中地蔵へ

この金山の肩から南の方へ急な坂道を500mほど下ると、勾配が少しゆるやかになり、三瀬峠への縦走路との三叉路に出る。右へ行けば三瀬峠へ行くが左へコースをとると、やがて急な下り道となり、ヒノキの植林地を抜けて、再び雑木林に入り、溪流沿いにどんどん下ると、石張りの歩道となり、二つの谷の合流点に出る。このすぐ下に小さな滝があり、これを左手に見て数分下ると林道(車道)に出る。更に500mほど下ると山中地蔵に着く。
 金山から山中地蔵まで2.5km、約50分ほどの行程である。

椎原峠へ

金山から佐賀、福岡両県の県境尾根を東の方へコースをとると、登り下りの多い尾根歩きとなるが、ブナ林の中に行く快適なコースである。30分ほど行くとイヌツゲの群落地があり、これを抜けると殆んど直角に尾根が曲っている。金山から約2.3km、1時間ほどで小爪峠に着く。小爪峠から又、登り坂となり約15分ほど登ると吉野山の山頂に着く。この辺りから岩稜のやせ尾根が続く展望のよい岩壁や、シャクナゲの群落が出てくる。吉野山から30分足らずで、尾根をはずれて左(東)へ一気に100mほど下ると、鬼ヶ鼻岩の大絶壁の上に出る。小爪峠から約45分の行程である。鬼ヶ鼻岩のつけ根から南へ下ると、約15分で林道の上ってきている峠にでる。これを下れば三瀬村井手野地区へ出るが、椎原峠はもう一つのピークを越したところで、三瀬村と脊振村の境界となっているところである。
 金山の肩から椎原峠まで、4.6km、約2時間ほどの行程である。



◎案内版 指導標等にはいたらずし
 ◎動物、植物をいじめず大切に
 ◎自分のゴミは持ち帰りましょう
 ◎案内版 指導標等にはいたらずし
 ◎動物、植物をいじめず大切に
 ◎自分のゴミは持ち帰りましょう

10:04

◀ 山中地藏 2.5KM

金山山頂 0.2KM

椎原峠 4.6KM ▶

10:05

環境

金山 (かなやま) 967m山頂

10:05 福岡市内方面

金山 (かなやま) 967m山頂

10:09

金山 (かなやま) 967m山頂からの天山 (てんざん) 1046m

谷戸沢
55m 3.5km

金山
九六七
M

金山 967m
早良区役所

一等
三
角
点

10:12 金山(かなやま)967m



10:12



10:29

花乱の滝登山口350mへ下山する



10:50



10:50

花乱の滝 金山
4.3KM

金山 国民宿舎
千石荘

自然を大切に！
森林は
大切な資源です。
福岡森林管理署

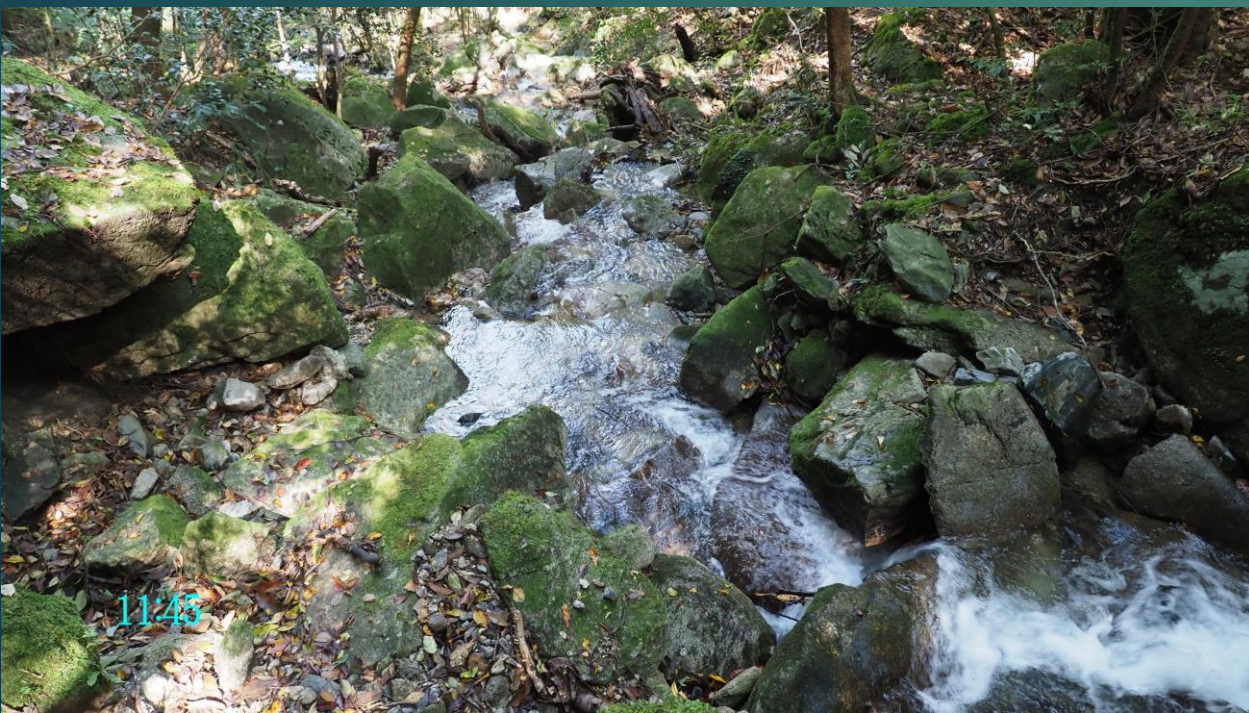
10:51



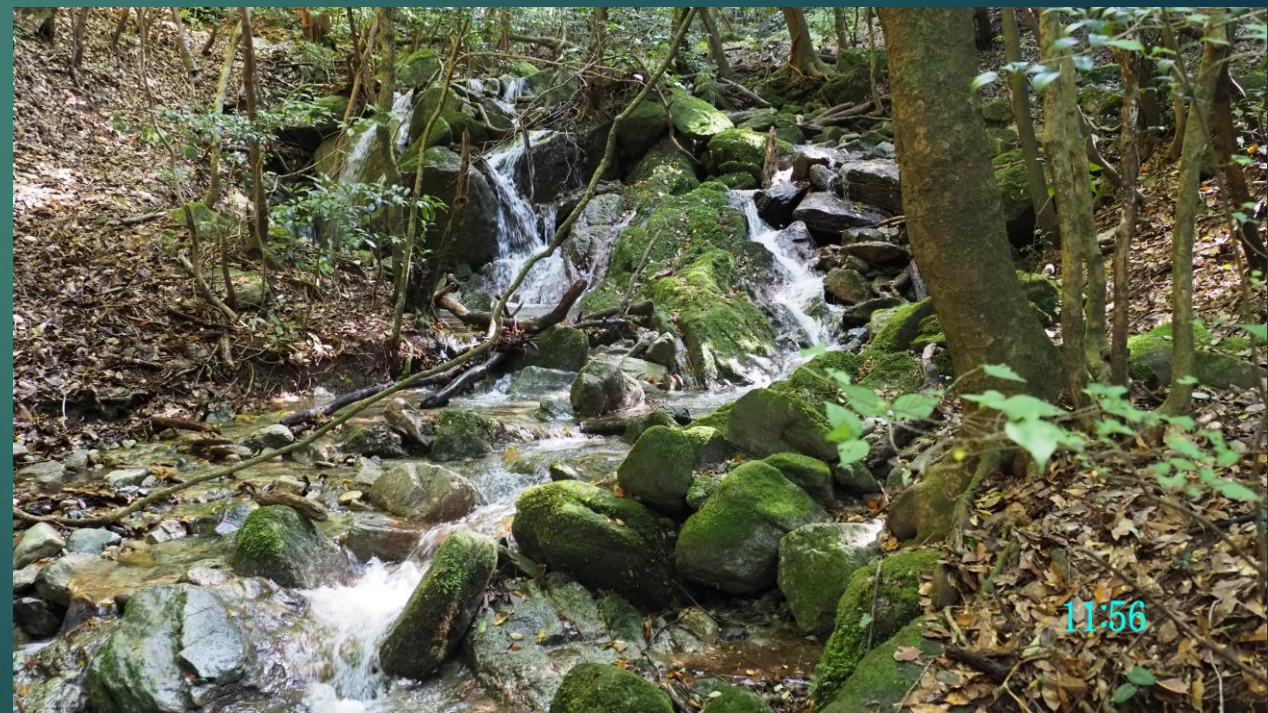
11:24



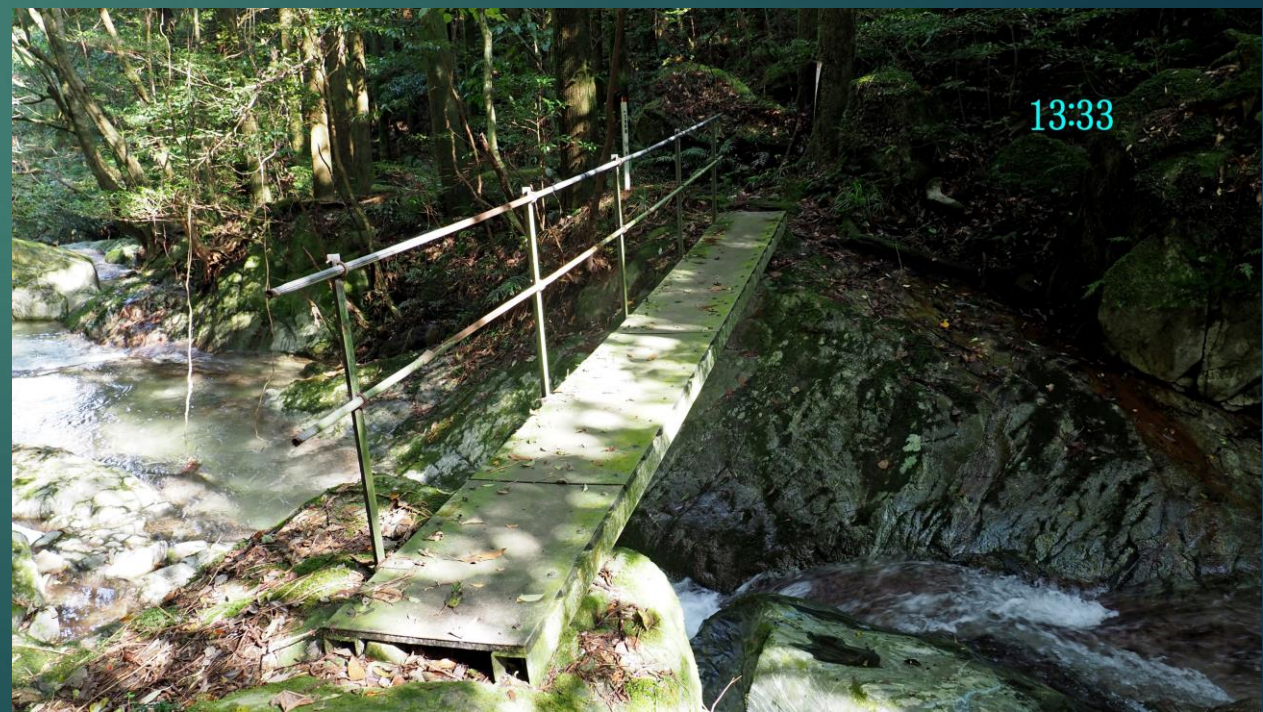
11:25



11:45



11:56

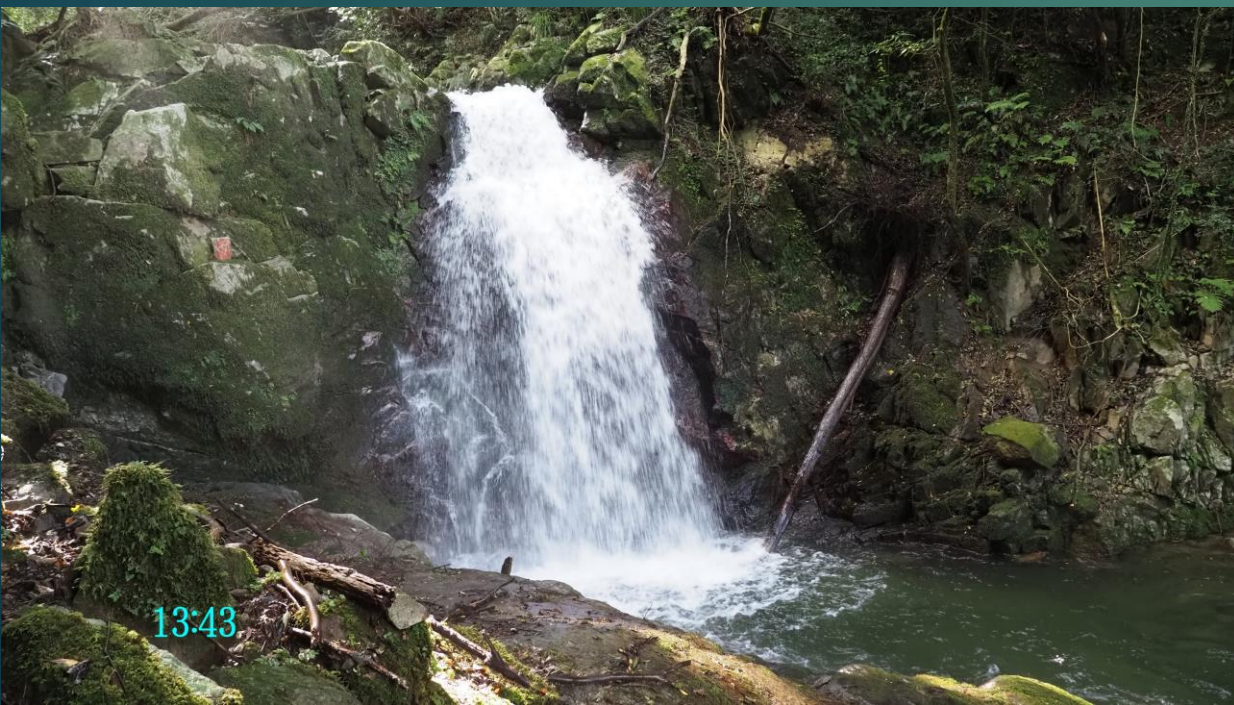




13:34



13:39



13:43



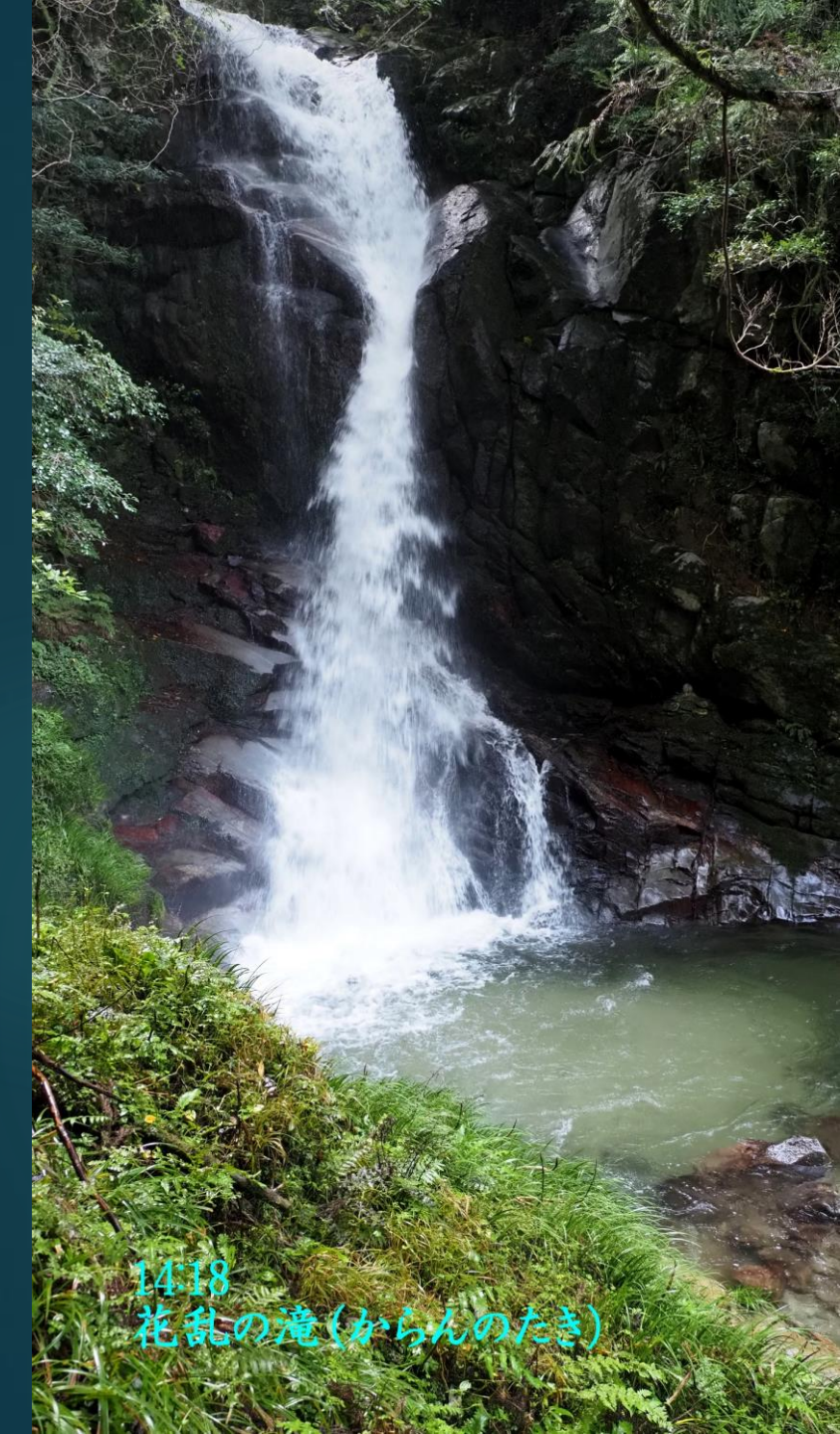
花乱の滝登山口
350mに到着

13:55
花乱の滝登山口350m

金山登山道地図(花乱の滝登山口)







14:18
花乱の滝(からんのたき)



14:36
花乱の滝(からんのたき)

修行している

花乱の滝は、落下する滝のしぶきが、花びらが乱舞するように美しいこと、または、花欄という修験者がいて、この滝にうたれて修行したということから、「花欄の滝」と呼ばれるようになったといわれています。

滝の高さは、約15m、幅3.5mあって、滝つぼが浅く、今でも滝にうたれて修行する人の姿が見られます。

(出典：YOKA NAVI
福岡市公式シテイ ガイド)

8時間15分の行動時間

ぼうず
坊主ヶ滝 たき

かなやま

金山登山道の入口にあたり、不動滝とも通天滝または紅葉の滝とも言われ、かつては僧侶の修業の場であった。水の勢いが強く、高さ一五メートル 幅約六メートルあつて深い淵をなし、増水したときには遠方からも望むことができる。

この豊かな清流は、坊主川を下つて室見川に流れ室見取水場を経て市民の大切な飲料水として使用されている。滝つぼの右上に、いつの時代に誰が作ったかわからない数体の石仏があるが、現在も季節の花など供えられ参詣者が多い。

自然を大切に

- 一、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 一、川を汚さないように！ 木を折らないように！
- 一、ゴミ・食べ物の残り、空カン・空ビンは持ち帰りましょう。

福岡市

15:19
坊主ヶ滝





本日、見た花々など

1. シマカンギク
2. ツルシキミ
3. シラヤマギク
4. ナルコユリ
5. ヤブラン
6. キッコウハグマ
7. モミジガサ
8. ヤマアジサイ
9. ツクシミカエリソウ
10. ジンジソウ
11. ヤブコウジ
12. サラシナショウマ
13. ヤマハッカ
14. フユイチゴ
15. ツリフネソウ
16. ツクシアザミ
17. サツマイナモリ
18. ノコンギク
19. ミゾソバ
20. ゴンズイ



シマカンギク(島寒菊)
キク科



ツルシキミ(蔓櫛)
ミカン科 常緑低木



シラヤマギク(白山菊)
キク科



ナルコユリ(鳴子百合)
ユリ科



ツルシキミ(蔓櫛)
ミカン科 常緑低木



ヤブラン(藪蘭)
ユリ科



キッコウハグマ(亀甲白熊)
キク科



キッコウハグマ(亀甲白熊)
キク科



モミジガサ(紅葉笠)
キク科



ヤマアジサイ(山紫陽花)
アジサイ科 落葉低木



ツクシミカエリソウ(筑紫見返草) シソ科
別名:オオマルバノテンニンソウ(大丸葉の
天人草)



ジンジソウ(人字草)
ユキノシタ科



ヤブコウジ(藪柑子)
ヤブコウジ科 落葉小低木
別名:十両



シラヤマギク(白山菊)
キク科



ヤブツバキ(藪椿)
ツバキ科



ジンジノウ(人字草) ユキノシタ科



サラシナショウマ(晒菜升麻)
キンポウゲ科



サラシナショウマ (晒菜升麻)
キンポウゲ科



サラシナショウマ
(晒菜升麻)
キンポウゲ科



ヤマハッカ(山薄荷)
シソ科



フイチゴ(冬苺)
バラ科



ツリフネソウ(釣舟草)
ツリフネソウ科



ツクシアザミ(筑紫薊)
キク科



サツマイナモリ(薩摩稻森)
アカネ科




ノコンギク(野紺菊)
キク科



ツリフネソウ(釣舟草)
ツリフネソウ科



ミゾソバ(溝蕎麦)
タデ科



ゴズイ (権萃)
ミツバウツギ科
別名:クロクサギ(黒臭木)







END